

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会  
令和7年度 第2回 認知症対策部会 会議録

開催日時	令和7年12月10日（水） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	生駒メディカルセンター 研修室
出席者 （委員）	山上部会長、古田副会長、太田委員、徐委員、佐々木委員、尾山委員、大谷委員、中田委員、高原委員、竹田委員、笹本委員
事務局	後藤部長 地域包括ケア推進課 秋永課長、斎藤課長補佐、田村係長、黒松係長、稲垣
傍聴	なし
案件	(1) 認知症月間等における啓発事業・多職種連携研修会のご報告 (2) 医療と介護の連携強化に向けた取組みの検討 (3) ケアパスの改訂について (4) ロードマップの見直し (5) その他
資料	会議次第 (資料1) 認知症月間等の取組み (資料2) 施設見学のご意見まとめ (資料3) ケアパス改訂（案） (資料4) ロードマップ（案） (資料5) ロジックモデル（案）
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
部会長 事務局	1 開会 委員の欠席報告 会議の公開、録音了承  2 案件 案件(1) 認知症月間等における啓発事業・多職種連携研修会のご報告 (資料1により事務局から説明) 次項目の概要説明 ・広報いこま いこまち9月号 特集「認知症と共に生きる」 ・イオンモール奈良登美ヶ丘の展示 ・生駒駅前図書室での展示 ・市役所1階ロビーでVR体験 ・ならコープ イベント開催（ロバ隊長の置物づくり、クイズラリー等） ・認知症に関する市民フォーラム、生駒市認知症シンポジウム ・多職種連携研修会 「入退院調整について」
委員	特に意見なし

<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(2) 医療と介護の連携強化に向けた取組みの検討 (資料2により事務局から説明) 見学後にいただいた意見をもとに、事務局で取りまとめて報告。 課題を整理し、来年度の活動の検討材料にさせていただくほか、ロードマップの見直しを図るための参考資料とする。 &lt;施設見学に参加していただいた部会員からの意見&gt; ・運営推進会議の存在を知らなかった。地域とどう関わっていくべきか考えるきっかけになった。 ・デイサービスとグループホームの声が異なり、困難事例についてはどの施設も同じような悩みを抱えていると感じた。</p> <p>本人ミーティングに関する報告について、既に参加していただいた部会員から視察見学の日は当事者よりも支援者が多く、部会員が当事者の中に参加してよいのか、見学すべきか判断に迷ったとの意見があった。 今後、参加する部会員には当事者に交じって参加していただく。</p>
<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(3) ケアパスの改訂について (資料3により事務局から説明) 事務局からケアパス改訂の趣旨について説明 &lt;意見・修正内容について&gt; ・ページにメリハリがないという意見があり、今後、業者へデザイン・製本依頼。 ・現行のケアパスは「かかりつけ医に相談」を推奨していたが、今回の改訂では地域包括支援センターが最初の相談先として強調されている点が良いという意見がある一方、相談先としてかかりつけ医の表記も必要であるとの指摘があった。内容構成を検討し再度ケアパスの案ができ次第、部会員に確認してもらう。 ・当事者や家族がどこに相談すればよいか分からない状況に対応するため、包括支援センターの窓口を強調することの重要性についてご意見をいただく。 ・若年性認知症の当事者に関するページを増やしたことに対する評価と、若年性認知症の当事者が直面する課題に対して、具体的な支援窓口や対応方法を強化することが求められた。若年性認知症に関する情報提供が不足しているとの声もあり、この分野に関する内容をページに反映させることが望ましい。 ・現行のチェックリストは、「認知症の気づき」として掲載していたが、当事者へのヒアリングにより、逆にストレスになりうるという意見があったことから、当事者目線での配慮が必要であるとわかった。チェックリストの位置や表現方法に工夫が求められ、当事者が手に取ったときにどう感じるかを重視し、内容の調整が必要。 ・地域包括支援センターの存在をもっと広めるための周知活動が重要とされ、広報活動や地域での草の根的な広め方に力を入れるべきだという意見があった。</p>

<p>部会長 事務局</p>	<p>完成までに随時、意見を募集し、部会員には途中経過を含め報告する。</p> <p>案件(4) ロードマップの見直し (資料 4～5 により事務局から説明)</p> <p>前回報告したロジックモデル、ロードマップの内容を見直し修正した案(資料 4、5)は、今回部会員に協力いただいた介護施設の見学を通じ、課題になった内容等を反映している。</p> <p>各段階に設定された評価指標が進捗を測るための重要な指標であり、指標の数値については、1 月頃に居宅介護事業所や市内病院にアンケートを取り、次回の認知症対策部会で報告する。</p> <p>現在の第 9 期介護保険事業計画は令和 6 年～8 年までの計画であり、10 期計画策定に向け、新たな認知症施策や計画に沿った取り組みを進めていく必要があるが、10 期計画の内容が国から発表されるのは来年になる。</p> <p>計画の具体的な内容が決定次第、10 期計画に合わせてロジックモデルやロードマップを見直す予定。</p> <p>次回の部会では、ロードマップとロジックモデルの評価及びケアパスの完成する予定ではあるが、部会員の皆様には、事前に意見やフィードバックをメールや電話でお寄せいただき、議論を深めていきたいと思っている。</p>
<p>部会長 事務局</p>	<p>案件(5) その他 特になし</p>
<p>部会長</p>	<p>長時間にわたりましてグループワーク等ありがとうございました。これを持ちまして、第 2 回の認知症部会は終了させていただく。ありがとうございました。</p> <p>16:00 閉会</p>